

第23回経営協議会議事録

日 時 平成21年5月21日(木) 10時00分～12時10分

場 所 特別会議室

出席者 (学外委員)

赤岩委員、荒井委員、竹岡委員、鶴保委員、長友委員、安田委員

(学内委員)

学長、辻理事、酒井理事、三木理事、蔵理事、福田電気通信学部長

多田情報システム学研究科長

(オブザーバー)

田中副学長、田野副学長、由良副学長、前田監事、宮田監事

第22回経営協議会議事録報告承認(発言者名入りの議事録)

議 題

□審議事項

1. 特命教授について (資料①)
2. 特別荣誉教授について (資料②)
3. 平成21年度当初予算(案)について (資料③)
4. 給与法改正に伴う本学職員給与規程及び役員報酬規程の改正について (資料④)

□報告事項

1. 会計監査人の選任について (資料⑤-1～2)
2. サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(講座型学習活動)の平成21年度1次募集に係る選定結果について (資料⑥)
3. 平成20年度に卒業、修了した本学学部、大学院(博士前期課程)学生の進学先内訳について (資料⑦)

□討議事項

1. 第二期中期目標・中期計画について (資料⑧-1～3)
2. 平成20年度業務実績報告書について (資料⑨)
3. 大学機関別認証評価自己評価書について (資料⑩)

議 題

審議事項1 特命教授について

酒井理事から、本学教授を定年により退職した者（名誉教授等）で、教育研究に豊富な経験と高い実績を有する者を特命教授として採用し、本学の教育研究活動の一層の発展に寄与してもらうための制度を導入したい旨説明があった。また、梶谷学長から、この制度を導入する経緯について説明があり、以下の議論の結果、これを承認した。

（学外委員） 定年前に私学等へ転出される場合、博士後期課程学生の指導はどうしているのか。

（学内委員） 他の人に代わるが、転出されるのは比較的若い教員が多い。

（学外委員） これまで退職したことによって支障があったのか。どの程度の人数を想定しているか。また、退職後、新たな職についた場合には時間が取れるのか。

（学内委員） 大きな支障はなかったが、大学として責任を持つ体制にしたいということである。人数については、数名であり、博士後期課程学生の指導は、毎日でなくても対応出来るため、他に職を持っていても支障はない。

（学外委員） 施設・設備は今までのものをそのまま使用できるのか。

（学内委員） 当該学科・専攻等と調整を行ったうえ共同で使用してもらい、新たに設備等の手当てをすることはしない。

（学外委員） 退職後、設備を引き継ぐ者がいないと廃棄するしかないので、活用できることはいいことだ。

審議事項2 特別栄誉教授について

酒井理事から、高い学識を有し、特に教育上又は学術上顕著な業績があり、かつ本学の教育研究活動のより一層の推進のために活動し、発言してもらうことが期待される者に称号を授与し、本学の更なる発展に寄与してもらうため、特別栄誉教授の制度を導入したい旨説明があり、これを承認した。

審議事項3 平成21年度当初予算(案)について

辻理事から、平成21年度当初予算(案)について、3月に承認をいただいた予算編成方針に基づく配分内容の説明があり、以下の議論の結果、これを承認した。

（学外委員） 法人化以降、各大学とも研究室に配分される額がかなり減ってきているが、電気通信大学ではどうか。

（学内委員） 全体的にはやはり苦しくなっているが、研究費だけで見るとある程度の額が措置できている。

（学外委員） 特殊要因経費が増えているが、前年度との比較がないので分かりづらい。間接経費については、載らないということなのか。

（学内委員） 間接経費については、別に定める形で作成している。

特殊要因経費が増えた主な要因は、前年よりも退職手当の所要額が多いため

ある。

(学内委員) 特殊要因経費の退職手当が、複雑で誤解をまねきやすく、財務諸表がわかりにくい原因となっている。

(学外委員) 外部資金の規模はどのくらいか。

(学内委員) 昨年の実績で、概算で14億円くらいの収入である。

(学外委員) この資料では全体が見えないが、どこかの段階で外部資金も含めた全体を作られるのか。

(学外委員) 大学の立派な活動を現すためにも作成した方が良いのではないか。

(学内委員) 大学全体のアクティビティを示すため作成したい。

審議事項4 給与法改正に伴う本学職員給与規程及び役員報酬規程の改正について
辻理事から、春に異例の人事院勧告が出され、国家公務員の6月期期末手当・勤勉手当の一部支給が凍結されることとなったため、本学も国家公務員の給与に準拠することとしており、関係する学内規程を改正したい旨説明があり、これを承認した。

報告事項1 会計監査人の選任について
辻理事から、会計監査人の選任について、平成21年度の会計監査人として、両監事の了解を得て監査法人トーマツを候補者として選定し、文部科学省へ申請した旨報告があった。

報告事項2 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト（講座型学習活動）の平成21年度1次募集に係る選定結果について
田中副学長から、「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト（講座型学習活動）」に本学から提案した「レーザーで探る」（実施主担当者：レーザー新世代研究センター 米田仁紀教授）が採択された旨報告があった。

報告事項3 平成20年度に卒業、修了した本学学部、大学院（博士前期課程）学生の進学先内訳について
田中副学長から、前回の経営協議会で報告した平成21年度電気通信大学入学試験実施結果について、配付資料⑥のとおり学部卒業生数に誤りがあり、該当箇所の修正を行った旨報告があった。

討議事項1 第二期中期目標・中期計画について
梶谷学長から、第二期中期目標・中期計画の策定等について、配付資料⑧-1～3に基づき説明があり、次回の経営協議会において審議していただくこととし、意見交換を行った。

(学外委員) 教員を学術研究院というひとつの組織にまとめることは、画期的でいいと思う。

(学外委員) 研究を4つのカテゴリに区別し、目的を明確にして実施することはいいと思

う。

(学外委員) UECビジョン2018を基本に目標を立てられたということで目標の方はいいが、計画の方が、定量的なものがなく目標と変わらないので、評価する立場には具体性が全くないと受け取られるのではないか。

(学外委員) 外部資金や寄附金等の獲得について、取組みを展開するとあるが、発展して行くぞということが読み取れるように増やすとしてはどうか。

(学外委員) このやり方全体に懐疑的に考えており、どこかで誰かがこのようなやり方は止めようと言わないといけないのではないか。

(学外委員) 中期目標・中期計画と同じように、年度計画もシンプルにした方がいいのではないか。

討議事項2 平成20年度業務実績報告書について

梶谷学長から、平成20年度業務実績報告書について説明があり、次回の経営協議会において審議していただくこととし、ご意見等がある場合には、事務局へ連絡することとした。

討議事項3 大学機関別認証評価自己評価書について

梶谷学長から、大学機関別認証評価自己評価書について説明があり、次回の経営協議会において審議していただくこととし、ご意見等がある場合には、事務局へ連絡することとした。

(閉会12時10分)

[配付資料]

- ①. 特命教授について（案）
- ②. 特別荣誉教授について（案）
- ③. 平成21年度電気通信大学当初予算（案）
- ④. 給与法改正に伴う本学職員給与規程及び役員報酬規程の改正について（案）
- ⑤-1. 平成21年度 会計監査人候補者比較表
- ⑤-2. 会計監査人の選任について
- ⑥. 「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト（講座型学習活動）の平成21年度1次募集に係る選定結果について
- ⑦. 平成20年度に卒業、修了した本学学部、大学院（博士前期課程）学生の進学先内訳について
- ⑧-1. 第二期中期目標・中期計画策定方針
- ⑧-2. 第二期中期目標・中期計画の検討に当たって
- ⑧-3. 第二期中期目標・中期計画検討資料
- ⑨. 平成20事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）
- ⑩. 大学機関別認証評価 自己評価書（案）

[参考資料]

1. 情報理工学部紹介パンフレット
2. 情報理工学研究科紹介パンフレット
3. 第5回産学官連携 DAY in 電通大